



世界に希望を生み出そう

Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

- ◆点鐘：長澤 裕二 会長 ◆ロータリーソング：それこそロータリー
- ◆司会：高橋 昌之 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



第3003回例会

令和6年1月22日(月)

会長あいさつ

長澤 裕二 会長



1月1日に、能登の地震があって、連日報道されています。道路が寸断されているから回復させるというのは非常に大変で、水道もまったくためで、都会で起こった地震と違って田舎の場合はほんとに下手すると孤立してしまうというような状況で、被害の程度も今になってようやく見

えてきているという状態ですね。手が届いていない地域、地方は大変な毎日だと思います。

義援金を送ろうということで、地区からも1人3,000円目標で、このクラブは約30万円ですね。ぜひ参加してくださいということできていますので、来週から募金を始めたいとも思います。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

実は昨日、私、ケガしました。スキーに行き肉離れを起こしました。筋肉が肉離れを起こして、全治1週間。1週間で治るかどうかわかりませんが、すべての運動を禁じられて、なるべく歩くなと言われてたのですが、何とか足を引かず歩いてます。

そんなことで、健康に気を付けてやっていたつもりなのですが、思わぬ事故をいただきました。これからはがんばってまた精進してまいります。よろしくお願ひします。

幹事報告

三沢 大介 幹事

- 1月のロータリーレートは1ドル141円となっており、多少円高のほうに振れております。財団の寄付がまだの方はぜひご協力のほどをよろしくお願ひいたします。

委員会報告

親睦・家族委員会

.....
会員13名、奥様が12名、1月に誕生日を迎えられます。おめでとございます。

ニコニコBOX

〈1月22日〉

長澤裕二会長／新年会盛会ありがとうございました
先週は新年会に多くの会員に出席いただき、ありがとうございました。また、準備・進行に当たった親睦・家族委員会の皆さま、お疲れ様でした。

三沢大介さん／楽しい新年会をありがとうございました
先週の新年会はとても楽しく過ごさせていただきました。親睦・家族委員会の皆さま、ありがとうございました。

戸田正宏さん／先日の新年会では年男を祝っていただき、ありがとうございます。鏡開きは経験がなかったので、フライングしました。

吉田福平さん／ロータリークラブ新年会にて年祝いをいただきました。後期高齢者に1歩ずつ近づいておりますが、これからも助けてください。

長谷川浩一郎さん／吉澤委員長をお迎えして
本日は地区委員長のお立場として当クラブ例会卓話講師をお務めいただきましてありがとうございます。日本J Cの先輩であり、地区委員長としてのお話を楽しみにニコニコいたします。

東海林健登さん／吉澤彰浩氏をお迎えして
大学の後輩である吉澤さんを本日卓話講師にお迎えすることができ、ニコニコします。

遠藤正明さん／吉澤委員長をお迎えして
地区でお世話になっている吉澤委員長、ようこそ西クラブへ。卓話、楽しみにしています。時間いっぱいお話しください。

武田岳彦さん／吉澤彰浩さんをお迎えして
西ロータリークラブへお越しいただき、ありがとうございます。本日の卓話を楽しみにしています。

市村清勝さん／パスラボワイヴァンズ初の10連勝
パスラボワイヴァンズが1月20日にチーム初の10連勝をしました。残念ながら昨日は負けてしまいましたが、今後の活躍に期待してニコニコです。

富田浩志さん／酒田舞娘さんに振袖を贈呈させていただきました。Y T Sの横沢さん、さくらんぼテレビの鈴木さんに報道でご協力を賜りました。皆さまに感謝申し上げます。

親睦・家族委員会の皆さま／新年会の御礼
先日の新年会に多くの皆さまにご出席いただき、誠にありがとうございます。皆さまにとって充実した1年になりますよう祈念してニコニコいたします。



ロータリー職業奉仕の意義

吉澤 彰浩 さん

〔国際ロータリー第2800地区 職業奉仕委員長〕

皆さまにお配りされた『ロータリーの友』の1月号にも職業奉仕の特集が組まれておりまして、メインタイトルが「難しいと思いませんか?職業奉仕」、その中に「皆さんの活動、実はそれ職業奉仕かも」、これをお読みいただければ職業奉仕はご理解いただけるのかなと思います。今日は、職業奉仕の意義や実践というのはどういうものかを、お話をさせていただければと思います。あと『ガバナー月信』7号で、1月号に委員会の報告に私の報告が載っておりますけれども、そこでも実践に触れておりますので、『ロータリーの友』の特集と内容がオーバーラップをするところもございますので、一応ご紹介をさせていただきたいと思っております。

その前に、まず今年ロータリーに入って良かったなと思うのが、緑の前で『ロータリークラブに入ろう!』がございまして、今年度はこの作者であります田中久夫さん、2017年-18年の2840地区高崎ロータリークラブ所属のバスターガバナー、その方が書いた本がありまして、昨年1年間に3回もこの2800地区にお越しただいてお話を聞きまして、「ロータリーとはなんだ」と聞いたら「人生の目的を知ることができる」という、非常に人生の意義という、そういう話をお聞きして大変鳥肌が立ったので、もし皆さん機会があればこちらの本も読んでいただければと思います。

それでは本題に入りたいと思います。職業奉仕は地区のほうでは、1つ目は造語の問題、2つ目はなんとなく理解している問題、3つ目はその職業奉仕というものを絶対的かつ確実的な価値化にしてしまっているという3つの問題があるのではないかと地区で分析しております。

造語というのはご存じのとおり、ロータリーは英語が発祥ですので、言語で「ボケーション・サービス」。「ボケーション」は直訳すると「天職」、天から授かった生業、天職サービス。日本では「職業奉仕」と訳してしまっただけでなく、「プロフェッション (profession) 専門性を生かした仕事、「オキュペーション (occupation) 単なる収入源を目的とした仕事もあつたりするものですから、職業奉仕というところとどこに当てはまるのかということと造語が難しくなりました。

2番目のなんとなく理解している、また、絶対的な「職業奉仕はこういうものだ」という絶対的な価値化にしてしまっている問題としては、これは鈴木一作バスターガバナーが「それを解決する方法としては、職業奉仕というものを1本の太木に例えるのではなくて、いろんな樹木によって形成されているのが職業奉仕の森なんです」とご本人の著作物に書いております。

では、この職業奉仕を理解する上でどうしたらいいのだというところでは、標準クラブ定款の5大奉仕部門の2の中で、150文字で明文化されております。それ以上でもそれ以下でもございません。こちらを読み上げますと、「奉仕の第2部門である職業奉仕は、事業および専門職種の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである」という目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」。これも英語をそのまま訳してしまっただけでまたわかりにくくしているのです。

これを4つに分解すると簡単なんです。1つ目は職業倫理、いわゆるコンプライアンスとかも含まれると思います。2つ目は、多分ロータリーというのは職業人の集まりなので、昔は職業分類というのがあつたとおり、1つ1つのそれぞれの仕事というのは尊重されるべきものであるということ、天職論。3つ目が職業

を生かした社会奉仕はどれもすべて社会奉仕であるという奉仕の理想、どんな仕事も社会に役立っているということ。そして最後の4つ目が、職業奉仕はロータリアン個人およびクラブ双方の責務でありますと言っております。これは職業人としてのあり方を説いています。この4つどれかに当てはまれば、どれでも職業奉仕なんですよということ。これは先ほどの標準クラブ定款の6条の5大奉仕部門の2というものを読んで、全部当てはまらなくてもどれか当てはまれば職業奉仕だということをごさまでご理解いただければと思います。

では、実際はこの職業奉仕というものの学びと、またその実践というのはどうしたらよいでしょうか。職業奉仕の実践においては、昨年、一昨年も、地区の主催事業であります地区研修協議会の中でグループのフォーラムディスカッションを開催させていただきました。提案として、日頃行っていく中に、職業奉仕の概念や理念、意味、意義を見出していく活動を常にやったらどうだということがありました。例えば、会員卓話は、語る側も再確認になりますし、聞く側も学びの場ができるということもあります。また職場訪問例会も、必ず職業奉仕の意味合いとしては説明しながら見るというだけで、実は職業奉仕の実践につながっているのではないかと考えております。

「腕より始めよ」という言葉がありますが、じゃあ自分の職業のスキルや技術を生かして何が社会にできるのかと思った時に、ロータリー以外には、米沢市で市の観光振興の委員会の委員長を仰せつかっていたりするので、その立場で、山形県立米沢商業高校と山形県立米沢工業高校が統合するに当たって、統合する年度の1年生200人向けに「米沢市の観光とその魅力とは?」という題名で話をさせていただいたことがあり、それは自分の仕事上のスキルを活かした話になりますので、これも実は職業奉仕だったりするところがございます。

そんなことで、職業奉仕とは何かと聞かれた場合に、私にとっては仕事や職業上のスキルを通じてどのような社会奉仕や社会貢献をしているか。それに対して、ロータリアンとしてどんな気づきがあるのかという活動自体が職業奉仕の実践ではないかなと思っておりますし、それがロータリアンとしての学びや成長につながるのではないかなと思っております。

私のアドバイザーの鈴木一作バスターガバナーからは、ロータリーは4つの流れがあるんだと、親睦が入り口だと。次にその場で学び、学んだことによって自身が成長する。それが最後に奉仕になっていくんだというような話で、親睦、学び、成長、奉仕というものをきちんと流れを持って活動していくのがロータリアンなんだよと。だから「I serve」なんだと。別のガオーという団体は「We serve」なんだと、ロータリーとライオンズの決定的な違いは職業人として個人がどのように成長しているのかというのがやっぱりロータリアンとしての非常に大事なところかなと考えております。

最後に、ロータリーにはさまざまな言葉が登場します。超我的奉仕もあると思うのですが、私がロータリーに入って一番好きな言葉というのは、「入って学び、出で奉仕せよ」、ロータリーは実践哲学として非常に学ぶだけではなくて、今日もこの場に立たせていただいて、お話をさせていただくことによって自分の成長につながるという、アウトプットをしないと成長につながらないなと思っております。5つの中核的な価値の中で私が好きな言葉は、「インテグリティ」という言葉です。これはやはりロータリアンとしての矜持とかプライド、誇りなのではないかなと思っております。

結論として、世の中にはさまざまな職業奉仕の樹木があるんだと思うのですが、皆さん、自分の職業奉仕の樹木は何かを見つけていただいて、地区であれば1,500名、1,500本の樹木があると思っておりますので、それを見つけていただいて育てていただければと思います。

この前の地区大会の時に、ゲストスピーカーで宇都宮北ロータリークラブの2550地区の鈴木宏バスターガバナーの講演の最後のほうに、ロータリーの寛容さを身に付ける、忍耐とかトランスも含まれると思うのですが、その次に来るのは中庸で、最後にロータリーで身に付くものは中道なんだということでした。だから人によって磨かれるロータリーは本当に素晴らしいなと思っておりますので、この多様な集まりの中で私も長くロータリーを楽しみたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

本日出席 (1 / 22)	会員総数	出席会員数
	101名	63名